

第 386 回研究報告会 (2026 年 4 月 29 日)

「メディアにおける戦争記憶とジェンダー—台湾と日本の公共テレビに描かれた戦争と女性像—」

黄 馨儀 (天理大学国際学部准教授)

本発表は、発表者がこれまで行ってきた朝ドラにおける戦争描写と女性像の研究を土台に、日本の公共テレビの比較対象として台湾の公共テレビのテレビドラマを取り入れ、分析を行ったものである。女性を中心とした朝ドラの戦争描写は、発表者の研究によると、男性が前線、女性が銃後という性別役割分業の図式が提示され、戦況を伝える際に多用されるドキュメンタリー的映像や終戦を表す「玉音放送」、およびヒロインの反戦

または中立的な戦争観が特徴である。台湾の公共テレビ「公視」で放送された戦時下の台湾を描く時代ドラマを分析した結果、朝ドラに描かれた戦争体験と類似した表現や、終戦を意味する「玉音放送」が用いられている点が極めて似ており、男性の出征や女性の銃後の役割も同様の設定であることが明らかになった。台湾と日本のメディアによって作り出された戦争記憶は、日本統治時代という歴史のつながりを物語っている。なお、台湾のメディアに描かれた終戦は、台湾の人々にとって日本統治の終焉を意味し、人々が「光復」を迎えて喜ぶ姿が描かれている。また、戦争を描く際の日本のメディアには女性＝反戦という図式が見られるのに対し、台湾の作品にはそのような図式は見られない。この点が両者の違いであると言える。

2026 年度おやさと研究所 公開教学講座 「布教伝道と伝道学」

第 1 回	4 月 25 日 (土)	伝道学入門—丸川仁夫『伝道学概論』から考える	堀内みどり 主任(終了)
第 2 回	5 月 25 日 (月)	異文化伝道論 1—イスラームの宣教活動に学ぶ	澤井 真 研究員
第 3 回	6 月 25 日 (木)	異文化伝道論 2—コンゴでの伝道とその課題	森 洋明 研究員
第 4 回	7 月 25 日 (土)	異文化伝道論 3—ブラジルから日本へ：在日ブラジル人の布教	中西光一 研究員
第 5 回	9 月 25 日 (金)	伝道史の探究 1—明治時代における教会設置	澤井治郎 研究員
第 6 回	10 月 25 日 (日)	伝道史の探究 2—戦前・戦中の北米伝道	尾上貴行 研究員
第 7 回	11 月 25 日 (水)	伝道史の探究 3—『天理教伝道者に関する調査』を読む	岡田正彦 研究員
第 8 回	12 月 25 日 (金)	伝道学の展開 1—天理大学史の中の「宗教学科」	島田勝巳 研究員
第 9 回	1 月 25 日 (月)	伝道学の展開 2—時代の動きと道の「時句」	金子 昭 研究員
第 10 回	2 月 25 日 (木)	伝道学の展開 3—帝国時代とポスト帝国時代の海外布教戦略	井上昭洋 所長

日時：毎月 25 日 13:00 ~ 15:00

会場：天理大学研究棟 3 階 第 1 会議室

※但し、第 10 回 (2 月) はふるさと会館大ホール (九号棟)

事前申し込みは不要です。
直接会場にお越しください。

グローバル天理
第 27 巻 第 6 号 (通巻 318 号)

2026 年 (令和 8 年) 6 月 1 日発行

© Oyasato Institute for the Study of Religion
Tenri University

発行者 井上昭洋
編集発行 天理大学 おやさと研究所
〒 632-8510 奈良県天理市杣之内町 1050
TEL 0743-63-9080
FAX 0743-63-7255
URL <https://www.tenri-u.ac.jp/oyaken/index.html>
E-mail oyaken@sta.tenri-u.ac.jp

おやさと研究所 (HP)



印刷 天理時報社
Printed in Japan